

## 総括

- 令和4年度は、すみだトリフォニーホール及びすみだ北斎美術館の当期指定管理の2年目にあたり、前年度に引き続きコロナ禍における運営となった。感染拡大の防止と社会経済活動の両立に向けて行動制限の緩和が進むなか、東京都や墨田区の指示、関連業界のガイドラインに適切に対応し、入場人員の制限、検温、消毒、マスクの着用など、徹底した感染防止対策を行った。また、職員及びスタッフについても感染防止対策を講じ、事業所内での感染者の発生を最小限に食い止めることができた。
- 財務状況については、コロナ禍による施設利用者の減少に伴う利用料金収入の減少、入場者・観覧者の減少に伴う入場料収入の減少などによる影響を受けた。しかし、新型コロナウイルス感染症関連の助成金や補助金を獲得したほか、行動制限や入国制限の緩和により徐々に入場者・来館者などが戻りつつあることを受けて、損害を最小限にとどめることができた。

### すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

- 令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により共催公演の2事業が中止になったものの、概ね予定どおり公演を実施することができた。フランチャイズオーケストラの新日本フィルと協働による数々の事業を実施したほか、区民を対象とした新たな体験型事業として、ホールの財産であるパイプオルガンを活用した演奏体験や「オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー」を実施し、多くの区民が参加した。
- ホール開館 25 周年企画として、すみだ音楽大使の佐渡裕氏のもと、新日本フィルや区民とともに、区立中学校全校合同のバンドクリニックなどを実施した。
- 音楽事業推進補助事業は、日本の伝統芸能や著名なアーティストのパフォーマンスを低廉な価格で楽しめるコンサートや、障害をお持ちの方、子育て家庭なども安心して参加できるコンサートを開催することで、多くの区民に、ホールを身近に感じ、足を運んでいただける機会を提供した。（区民来場率:50%超）
- 開始から2年目となる区民モニター制度は、登録者数が初年度より大幅に増加し、多くの区民からのご意見・ご要望、幅広い視点からの客観的な評価を指標として活用した。
- アウトリーチ事業は、区内小中学校の全校への音楽指導事業や福祉施設におけるふれあいコンサートを実施したほか、新たに音楽療法を取り入れた活動を、区内小学校の特別支援学級において実施した。
- 施設利用については、新型コロナウイルス感染拡大の影響は残るが、大ホール、小ホール、練習室の利用状況は回復傾向にある。また、年間公演数もコロナ前(平成 30 年度)の9割超まで回復した。

## すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

- 令和4年当初は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況が落ち着きを見せ、令和4年の3月から開催した「北斎 花らんまん」展も観覧者数が伸び、続く特別展「北斎 百鬼見参」も、開幕初日にテレビ放送の効果もあり好調な出だしであった。しかし、6月末から7月前半にかけて感染者数が急増したことに伴い、入館者数が落ち込む状況となったが、その後に観覧者数が再び増加し、最終的にはコロナ禍以降、最も多い観覧者数となった。
- 「常設展プラス」については、令和4年4月1日から令和4年6月12日及び9月13日～3月31日まで4階企画展示室で開催し、「隅田川両岸景色図巻(複製画)」や『北斎漫画』を展示した。上記期間中の令和4年5月24日から6月12日までは、上記展示に加え、特別展示「北斎の描いた山」を行った。
- 教育普及事業については、感染症拡大予防策を徹底したうえで、区内学校への出前授業や企画展に関連したワークショップを実施した。また、企画展に関連したスライドトークについても「北斎花らんまん」展前期はオンラインとし、同展後期及び次の展覧会からは感染防止対策を講じて対面で実施した。
- 令和4年度の観覧者数は、90,466人(令和3年度実績 56,978人)となり、前年度に比べ来館者数は大幅に増加した。

なお、開館からの累計観覧者数は、令和4年度末で 967,077 人となり、令和5年度中には 100 万人が達成される見込みとなった。
- 令和4年度は文化庁の文化芸術振興費補助金「コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業」に採択され 6,000,000 円を獲得することができたほか、墨田区からの損失補填等により感染症拡大による資金面への影響を最小限に抑えることができた。

## 墨田区域における文化芸術活動の推進支援事業

- 「すみだ文化芸術活動助成事業」については、区内で活動する文化芸術団体 17 件の申請のうち、選考会において8件を採択した。採択した事業については、すみだ文化芸術情報サイト及び SNS でイベント情報を発信し、選考委員による視察と評価コメントのフィードバックなど支援プログラムの充実に努めた。
- 「すみだ文化芸術情報サイトの運営」では、事務局で各団体が発行するメールニュース等の転載や助成・支援等の情報発信に努め、登録件数が 170 件に増加した。
- 「文化政策及び文化事業に関する調査」においては、国、都、他の自治体の文化政策の動向の情報収集を行い、区の文化施策及び財団の事業に対するアドバイザリーボードの意見を聴取した。
- 「アートプロジェクト等の推進事業」では、「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会事務局を引き続き担い、コロナ禍で行われる北斎、隅田川をテーマとした 13 件の企画に対する補助金の交付やサポートを行うとともに、2件の実行委員会主催企画を推進した。

# I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

## 1 トリフォニーホールの事業展開

すみだトリフォニーホールは1997年の開館以来、芸術文化の創造・発信拠点として、フランチャイズ・オーケストラ新日本フィルハーモニー交響楽団との連携・協力により多彩な自主・協働企画事業を行っている。令和4年度は、トリフォニーホール開館25周年、新日本フィル創立50周年の記念すべき節目の年を迎え、すみだ音楽大使、ミュージックアドバイザーの佐渡裕氏、新日本フィルと共に、区民、産業、福祉、教育、地域等の様々な分野を巻き込み墨田区が一体となって周年事業を展開した。

また墨田区の支援によりスタートした「音楽事業推進補助事業」は2年目を迎え、多くの区民の来場が実現するなど取り組みが定着し、積極的な事業展開及び広報活動を推進できたことが大きな実績であった。

トリフォニーホール区民モニターアンケートでは、開館25周年記念事業の成果や、今後のトリフォニーホールへの期待、さらにはフランチャイズ制度の展開など、幅広い視点から多岐にわたる項目について調査を実施した。モニター登録者数は初年度より大幅に増え、約330名の区民からの意見・要望、また幅広い視点からの客観的な評価を指標として活用した。

## 2 開館25周年記念事業

すみだ音楽大使の佐渡裕氏(令和5年4月から新日本フィル第5代音楽監督)のもと、ホール、新日本フィル、区民とともに企画し創り上げる事業に取り組んだ。

25th アニバーサリーウィーク第1弾の10月26日(水)「佐渡裕×シエナ×新日本フィル」では、祝祭日のトップバッターに墨田区立中学校全10校合同141名という大編成のバンドクリニックを実施。的確でわかりやすい佐渡氏の指導と中学生の柔軟な吸収力により、短時間で見違えるように進化した演奏に多くの感動の声が寄せられた。中学校吹奏楽バンド、シエナ・ウインド・オーケストラ、新日本フィルという豪華な出演者がホール開館記念日を彩った。



2022/10/26(水)佐渡×中学校吹奏楽部バンドクリニック  
区立全中学校10校の吹奏楽部員141名が集合した壮観な舞台

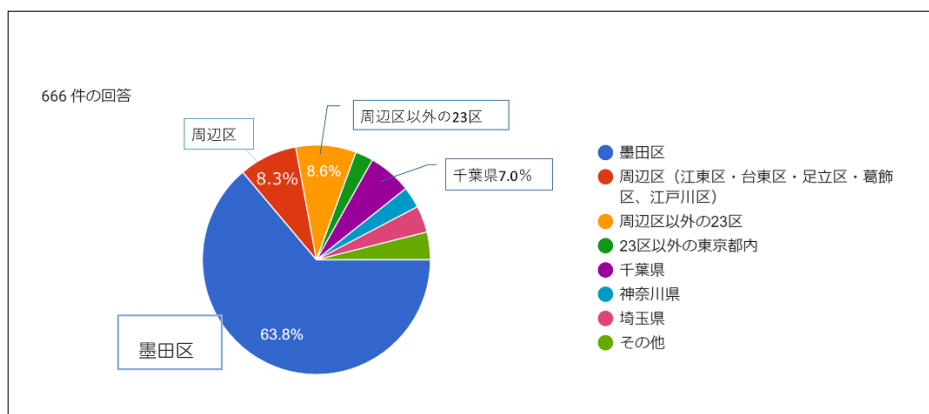


「音楽は全身で表現するもの。演奏は一度きりであることが魅力！」  
情熱的な佐渡氏の指導を受ける中学生

第2弾の10月29日(土)、30日(日)「佐渡裕×さだまさし×新日本フィル×すみだの第九」では、オーディションを経て区民による25周年記念合唱団を結成した。数か月間にわたり積み重ねてきた練習の成果を、佐渡裕指揮、新日本フィルの演奏で披露した。コロナ禍で制限されてきた合唱もようやく緩和され、トリフォニーホール誕生の契機ともなったベートーヴェンの第九が高らかに響きわたった。



2022/10/29(土)、30(日)佐渡裕×さだまさし×新日本フィル×すみだの第九



### 3 主催公演における積極的な事業実施

主催公演においては世界的に活躍する一流アーティストと、フランチャイズ・オーケストラ、新日本フィルとが共演する新日本フィル活用事業を積極的に展開した。また「音楽事業推進補助事業」では、「能・文楽・歌舞伎 謡かたり『隅田川』」「南こうせつ meets 新日本フィル」「GODIEGO meets 新日本フィル」など、日本の伝統芸能や著名アーティストの本格的なパフォーマンスを低廉な区民割引価格で楽しんでもらう機会を提供し、多くの区民が来場した。障害のある方も、子どももお年寄りも、誰もが一緒にホールに集い、気軽にクラシック音楽を楽しめる「ようこそ！誰でもコンサート」、子育て支援を目的にお母さん、お父さん、お腹の中の赤ちゃんもリラックスして鑑賞できる「リラックス・コンサート」等の実施など、「音楽事業推進補助事業」では区民来場率が50%を超えており、この事業が区民の高い関心を集め確実に定着してきていることがうかがえる。



2022/8/13(土)能・文楽・歌舞伎 謡かたり「隅田川」  
入場者 1,230 名(うち区民 633 名 51%)



2022/9/3(土)南こうせつ meets 新日本フィル  
入場者 1,257 名(うち区民 858 名 68%)

年間を通じてホールの財産でもあるパイプオルガンを活用した多彩な事業を実施した。特に子どもから大人までのすべての区民を対象としたオルガン体験会は、毎回応募者が定員を大きく上回るなど、鑑賞するだけの楽器だったオルガンが身近な楽器として区民に浸透していることがうかがえる。

新日本フィルのメンバーによる「アウトリーチ事業」では令和4年度から新たに音楽療法を取り入れたアウトリーチを開始し、区内小学校2校の特別支援学級児童を対象に実施した。効果測定した専門家の医師からは、継続的に音楽を提供することでもたらされる行動の変化や音楽に対する意識や感じ方に変化が見られ、特別支援学級の生徒たちにとって課題となりやすい社会性や身体協応を促すことに役立ったと思われるとの報告があった。また、墨田区立中学校吹奏楽部を対象に、新日本フィルの楽団員が学校へ出向いて実技指導をおこない、楽器演奏の指導を開始した。部活動の地域移行を見据えて、今後もサポート体制を構築していく。東京文化会館と協働で実施しているワークショップリーダーによる小中学校向け音楽づくりワークショップでは、体験を通して自己表現能力やコミュニケーション能力を養うことで豊かな心を育てることに繋げた。引き続き令和4年度も必要な感染防止対策を講じながら、区立小中学校の全校での音楽指導事業ならびに区内福祉施設でのふれあいコンサートを実施した。

各施設利用においては、来場者数はコロナ前の3分の2程度に留まり、感染拡大の影響が残っていることがうかがえるが、大ホール、小ホール、練習室ともに利用状況が回復し、以前の利用率に戻りつつある。コロナ禍で急激に変化した文化施設の新たな日常への転換を徹底し、感染防止に努めながら一層安心・安全なホール運営を実現した。

## 4 音楽等の鑑賞機会の提供

### (1) 公演事業

すみだトリフォニーホールの大ホールを主な会場として、フランチャイズ・オーケストラである新日本フィルハーモニー交響楽団を活用した佐渡裕指揮開館 25 周年事業、あらゆる区民に届ける鑑賞公演、世界の第一級音楽家による芸術性の高い公演、大ホールのシンボルであり区民の財産でもあるパイプオルガンを活用した公演などを実施した。

令和3年度に立ち上げた「音楽事業推進補助事業」では、質の高いパフォーマンスを低廉な価格で鑑賞できる機会をこれまで以上に創出した。日本の伝統芸能や著名アーティストによる公演など、音楽を中心とした様々なジャンルの鑑賞機会を提供し、舞台芸術の振興を図った。



■開館 25 周年記念事業(2事業3公演)【音楽事業推進補助事業】【新規】

回	実施日	事業内容	入場者数
1	10月26日(水)	<p>25th アニバーサリーウィーク vol.1 佐渡裕×シエナ×新日本フィル</p> <p>[概要]開館記念を祝して開催する記念公演の第1弾。佐渡裕氏の指導および指揮による以下の3部構成によるコンサート。 第1部 墨田区立全中学校吹奏楽部のバンドクリニックと合同演奏会 第2部 シエナ・ウインド・オーケストラ 第3部 新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>[出演]佐渡裕(指揮)、墨田区立全中学校吹奏楽部、シエナ・ウインド・オーケストラ、新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>[演目]マッコイ:アフリカン・シンフォニー、 A. リード:アルメニアン・ダンス part1&amp;2、レスピーギ:ローマの松</p>	1,215人
2	10月29日(土) 10月30日(日)	<p>25th アニバーサリーウィーク vol.2 佐渡裕×さだまさし×新日本フィル×すみだの第九</p> <p>[概要]開館25周年を祝して開催する記念公演の第2弾。 佐渡裕氏と、著名アーティストのコラボレーション企画として、さだまさしを起用。また、すみだを象徴する「第九」を区民とともに合唱し、開館25周年を祝う企画。</p> <p>[出演]佐渡裕(指揮)、さだまさし、新日本フィルハーモニー交響楽団、すみだトリフォニーホール25周年記念合唱団</p> <p>[演目]前半:さだまさし×新日本フィル 後半:ベートーヴェン交響曲第九番 第四楽章</p> <p>[関連企画]:10月28日(金)第九合唱公開リハーサル</p>	10月29日 1,445人  10月30日 1,393人

■フランチャイズ・オーケストラ活用主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	5月7日(土)	<p>新日本フィル《映画音楽》コンサート 2022</p> <p>[概要]名作映画の数々を一堂に楽しめるコンサート。前半はイタリア・アメリカの名画の名曲、後半は映像付きによる音楽と映像の組み合わせにより、多くの映画ファンやクラシック初心者に向けて実施。</p> <p>[出演]竹本泰蔵(指揮)、田添菜穂子(司会)</p> <p>[演目]アンタッチャブル序曲/ニューシネマパラダイス/ゴッドファーザー組曲ベンハー組曲、(映像付)風と共に去りぬ/ローマの休日</p>	1,436人
2	8月6日(土)	<p>下野竜也プレゼンツ!音楽の魅力発見プロジェクト 第9回 讚・山本直純没後20年「オーケストラがやっときた」</p> <p>[概要]区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらうシリーズ企画の第9回。低料金のオーケストラ鑑賞機会を提供。毎回好評なレクチャー付きコンサートとして実施。</p> <p>[出演]下野竜也(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>[演目]山本直純/白銀の栄光(管弦楽版)、山本直純/シンフォニック・バラードほか</p> <p>[関連企画]バックステージ・ツアー、楽器体験《誰でもオーケストラ!》</p>	716人
3	10月22日(土)	<p>ラトヴィア放送合唱団&amp;新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>[概要]ホールブランドを高める公演。ラトヴィア放送合唱団と新日本フィルとの共演で、世界最高水準の音楽に触れる機会を提供する。前半は合唱のみ、後半はオーケストラとの共演。</p> <p>[出演]シグヴァルズ・クラウヴァ(指揮)、ラトヴィア放送合唱団</p> <p>[演目]J.S.バハ:イエス、わが喜び、リゲティ:ルクス・エテルナ、ヴァスクス:私たちの母の名</p> <p>[関連企画]ラトヴィア合唱団によるアウトリーチ事業(墨田区立中和小学校)</p>	865人

回	実施日	事業内容	入場者数
4	11月6日(日)	<b>綾小路きみまろ&amp;新日本フィル ～オトナの音楽会～vol.2</b> [概要]新たな聴衆の開拓を目的として、漫談とコンサートの2部構成で気軽にクラシックを楽しんでもらう企画。 [出演]綾小路きみまろ(漫談)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目]第1部 漫談 第2部 オーケストラコンサート	1,681人
5	3月11日(土)	<b>すみだ平和祈念音楽祭 2023 アルミンク&amp;新日本フィル</b> [概要]ホールブランドを高め、区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。関東大震災および東京大空襲で甚大な被害を被った墨田区において、開館以来回数を重ねてきた平和の祈りを音楽で発信するコンサート。 [出演]クリスティアン・アルミンク(指揮)、萩原麻未(ピアノ)、室住素子(オルガン) [演目]ルクー／弦楽のためのアダージョ ラヴェル／左手のためのピアノ協奏曲 サン＝サーンス／交響曲第3番ハ短調作品78「オルガン付き」 [関連企画] ①2023年3月5日(日) ・禁演落語(小ホール) ・上映会「東京大空襲とすみだ」(小ホール) ②2023年3月7日(火) ・クリスティアン・アルミンク、萩原麻未、新日本フィル楽員によるアウトリーチ事業(墨田区立両国小学校) ③2023年3月10日(金) ・平和祈念コンサート(区役所1階アトリウム) ・公開リハーサル	931人

## ■大ホール等における自主企画公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	11月26日(土)	<b>グレート・ピアニスト・シリーズ「エリツ・ヴィルサラーゼ」</b> [概要]ホールブランドを高める公演。ロシア・ピアニズムの正当なる継承者であり、80歳の現在も演奏家・教育者として第一線で活躍している。 [出演]エリツ・ヴィルサラーゼ [演目]モーツァルト／幻想曲ハ短調 K.396、ショパン／ワルツ第19番イ短調、モーツァルト／幻想曲ハ短調 K.475、ショパン／ノクターン第7番嬰ハ短調作品27-1、ノクターン第8番変ニ長調 作品27-2、バラード第3番変イ長調作品47	749人
2	12月10日(土)	<b>トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・オルガンコンサート 2022</b> <b>第1回 0歳児からのオルガン・コンサート</b> <b>第2回 しっかりじっくりオルガン・コンサート</b> [概要]気軽に誰もが楽しめるパイプオルガンのコンサート。クリスマスにちなんだ曲や J.S.バッハなど有名なオルガン作品を演奏。バレエとのコラボレーションによりクリスマスにふさわしい豪華な舞台となった。 [出演]室住素子(オルガン)、井上バレエ団 [演目]チャイコフスキー／「くるみ割り人形」より抜粋	<b>【第1回】</b> 1,358人  <b>【第2回】</b> 1,625人
3	1月4日(水)	<b>新日本フィル・ニューイヤー・コンサート 2023 in すみだ曳舟</b> [概要]区民に新日本フィルを身近に感じてもらう企画。区北部の住民や、まちづくりの進展に伴い新たに住民となった聴衆層への拡大を目的に、落語と、ニューイヤースタイルの音楽を一緒に楽しめる内容を実施。 [出演]桂宮治(落語)、柴田真郁(指揮)、田添菜穂子(司会)、宮地江奈(ソプラノ)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目]前半:落語、後半:オーケストラによるコンサート	515人

回	実施日	事業内容	入場者数
4	1月29日(日)	<b>グレート・ピアニスト・シリーズ／ゴルトベルク変奏曲2023「ファジル・サイ」</b> [概要]ホールブランドを高める公演。トリフォニーホールには3度目の登場。 今回はゴルトベルク変奏曲シリーズとのダブルシリーズとして開催 [出演]ファジル・サイ [演目]J.S. バッハ／ゴルトベルク変奏曲、シューベルト／ピアノ・ソナタ第19番 [関連企画]1月15日(日) ゴルトベルク変奏曲 2023 レクチャー	1,281人
5	2月26日(日)	<b>グレート・ピアニスト・シリーズ「ユリアンナ・アヴデーエワ」</b> [概要]ホールブランドを高める公演。第16回ショパンコンクールで優勝するなど、世界的に評価の高いピアニスト。戦争に翻弄された3人の作曲家の作品を取り上げることで、彼女の平和への強い意思を感じさせるメッセージが込められていた。 [出演]ユリアンナ・アヴデーエワ(ピアノ) [演目]ショパン／ポロネーズ第7番 作品61《幻想ポロネーズ》、 シュピルマン／ピアノ組曲《ザ・ライフ・オブ・ザ・マシーンス》、 プロコフィエフ／ピアノ・ソナタ第8番 作品84《戦争ソナタ》 ほか [関連企画]2月13日(月) 錦糸中学校でのアウトリーチ「スペシャル音楽道」	1,086人
6	2月28日(火)	<b>ザ・マンハッタン・トランスファー50th アニバーサリー&amp;ファイナル・ワールドツアー with ビッグバンド</b> [概要]世界的に活躍するアーティストによりホールブランドを高める公演を実施。 [出演]マンハッタン・トランスファー:アラン・ポール(ヴォーカル)、シェリル・ベントーン(ヴォーカル)、トリスト・カーレス(ヴォーカル)、ジャニス・シーゲル(ヴォーカル) ビッグバンド:ヤロン・ガシヨフスキー(ピアノ)、ピート・マッキャン(ギター)、ボリス・コズロフ(ベース)、ロス・ペダーソン(ドラムス)、本田雅人(サクソ)、鈴木圭(サクソ)、竹村直哉(サクソ)、庵原良司(サクソ)、渡邊瑠菜(サクソ)、エリック・ミヤシロ(トランペット)、小澤篤士(トランペット)、山崎千裕(トランペット)、具志堅創(トランペット)、中川英二郎(トロンボーン)、半田信英(トロンボーン)、小椋瑞季(トロンボーン) [演目]TUXEDO JUNCTION、OPERATOR、Airmail Special、TRICKLE TRICKLE、The Boy from New York City、BIRDLAND	1,620人

## ■墨田区音楽事業推進補助事業公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	8月9日(火)	<b>赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も…みんなみんな、「ようこそ！誰でもコンサート」新日本フィル・スペシャル！</b> [概要]普段コンサートホールで音楽を聴く機会の少ない層を中心に、誰もが音楽を楽しめる公演として実施。 [出演]坂入健司郎(指揮)、岩崎瑞穂(司会)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目]久石譲／オーケストラ・ストーリーズ『となりのトトロ』より、「ネコバス」「となりのトトロ」「さんぽ」、ジョン・ウィリアムズ／映画『E.T.』フライング・テーマ ほか	706人
2	8月13日(土)	<b>能・文楽・歌舞伎 謡かたり「隅田川」</b> [概要]区民に古典芸能に親んでもらう企画。能楽作品の一つ「隅田川」は文楽、歌舞伎でも隅田川物とされている名作である。世界に誇る伝統芸能の3つが一堂に会した一夜限りの特別な公演を実施。 [出演]杉信太郎(笛)、大倉源次郎(小鼓／人間国宝)、柿原弘和(大鼓)、豊竹咲太夫(浄瑠璃／人間国宝)、鶴澤燕三 鶴澤燕二郎(三味線)、尾上菊之助(立方) [演目]隅田川	1,230人



回	実施日	事業内容	入場者数
3	9月3日(土)	<b>南こうせつ meets 新日本フィルハーモニー交響楽団</b> [概要]南こうせつバンドのライブに続き、新日本フィルとの夢の競演が実現。のびやかな歌声と、いつもそばにある懐かしい名曲の数々に、多くの区民が魅了された。 [出演]南こうせつ(歌手)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目]南こうせつ/夢一夜、妹、神田川 ほか	1,257人
4	10月8日(土)	<b>新日本フィル お腹に赤ちゃんのいるお母さんのためのリラックス・コンサート</b> [概要]妊娠中の夫婦、子育て家庭とその子供等にリラックスできる音楽と、音楽家や専門家による出産・子育てのトークなどで、妊娠中の不安や孤立を少しでも和らげることに貢献した。 [出演]和田一樹(指揮)、宮里直樹(テノール)、福田えりか(助産師/賛育会病院看護部副看護部長)、田添菜穂子(司会)、新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽) [演目]テレビアニメ『名探偵コナン』テーマ、童謡・手遊びメドレー(中田喜直作曲/大きなたいこ・小さなたいこ、J.ウィリアムズ/映画『スター・ウォーズ』よりメイン・テーマ ほか	796人
5	11月24日(木) 11月25日(金)	<b>新日本フィル・コミュニティ・コンサート</b> [概要]アウトリーチ活動の核となるコミュニティ・コンサート。感染防止のためトリフォニーホールで開催。本事業を通して、地域住民のコミュニティ活動が活発になり、住民同士の繋がりが一層深まる機会となった。 [出演]米田覚士(指揮)、岩崎瑞穂(司会)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目]ビゼー/歌劇『カルメン』より「前奏曲」 楽器紹介:アンダーソン/ブリンク・ブランク・プルンク、クラリネット・キャンディ、トランペット吹きの日、シンコペーテッド・クロック 指揮者体験コーナー:ブラームス/ハンガリー舞曲第5番、ジョン・ウィリアムズ/映画『ハリー・ポッターと賢者の石』より ほか	11/24 言問小学校 324人 錦糸中学校 220人 11/25 横川小学校 563人 業平小学校 651人
6	2月4日(土)	<b>GODIEGO meets 新日本フィルハーモニー交響楽団</b> [概要]数々のヒット曲は最近もメディアに使用されるなど、往年のファンのみならず若年層からも支持されているゴダイゴ公演とあって早々に完売。本番では満員の客席が熱狂の渦に包まれた。 [出演]GODIEGO、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目]タケカワユキヒデ/ガンダーラ、銀河鉄道999(The Galaxy Express 999)ほか	1,606人

財団と新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催により、年4回の時節を捉えたコンサートを開催し、区民をはじめ家族連れなど幅広い層の集客に努めた。また、新日本フィルの定期演奏会等にも共催し、区民割引を適用した良質な音楽鑑賞機会を安価で提供した。

### ■新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月9日(土)	<b>ファミリーコンサート2022 アキラさん×新日本フィル0歳から一緒に!</b> [出演]宮川 彬良(指揮・ピアノ)、宮川安利(ダンス)、新日本フィル [演目]TICK,TUCK,TOCK!、シンフォニック・マンボ No.5(ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」とペレス・プラードの「マンボ No.5」をミックスした宮川彬良による究極のアレンジ作品)、オーケストラの森 ほか	1,078人 935人
2	7月18日(月・祝)	<b>すみだサマーコンサート2022 オーケストラのとびら</b> [出演]大井剛史(指揮)、横山だいすけ(歌・お話)、OriHime(ゲストロボット) [演目]坂田修(作詞・作曲):ありがとうの花、久石譲:オーケストラ・ストーリー『となりのトトロ』(楽器紹介つき)、ムソルグスキー:組曲「展覧会の絵」(M.ラヴェルによる管弦楽編)	1,377人

回	実施日	事業内容	入場者数
3	12月31日(土)	大晦日だよ！アキラさん！超！ジルベスター・コンサート2022→2023 アキラさんは音楽を楽しむ天才！ [出演]宮川 彬良(指揮・ピアノ)、大山 大輔(バリトン)、宮川安利(歌) [演目]宮川泰:「ゲバゲバ 90分」オープニングテーマ、宮川彬良:パトロネージュ・サンバ2022、バーンスタイン:「シンフォニック・ダンス」ほか	1,351人
4	1月3日(火)	新日本フィルハーモニー交響楽団-ニューイヤーコンサート2023 [出演]柴田真郁(指揮)、田添菜穂子(司会)、宮地江奈(ソプラノ)、ビルマン 聡平(2nd Violin) [演目]J.シュトラウスⅡ:喜歌劇『こうもり』より「侯爵様、あなたのようなお方は」(ソプラノ:宮地江奈)、J.シュトラウスⅡ:美しく青きドナウ ほか	1,495人

## ■新日本フィルハーモニー交響楽団との共催公演

〈すみだクラシックへの扉〉			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月15日(金)	すみだクラシックへの扉 第6回	1,127人
	4月16日(土)	[出演]久石 譲、リーウエイ・キン(チェロ)	1,552人
2	5月13日(金)	すみだクラシックへの扉 第7回	1,159人
	5月14日(土)	[出演]井上 道義(指揮)、林英哲(和太鼓)、石丸由佳(オルガン)	1,295人
3	6月17日(金)	すみだクラシックへの扉 第8回	921人
	6月18日(土)	[出演]キンボー・イシイ(指揮)、周防亮介(ヴァイオリン)	985人
4	9月16日(金)	すみだクラシックへの扉 第9回	1,158人
	9月17日(土)	[出演]小泉和裕(指揮)、清水和音(ピアノ)	1,315人
5	10月14日(金)	すみだクラシックへの扉 第10回	1,118人
	10月15日(土)	[出演]上岡敏之(指揮)、上野星矢(フルート)、田部京子*(ピアノ)、	1,374人
6	11月18日(金)	すみだクラシックへの扉 第11回	1,189人
	11月19日(土)	[出演]沖澤のどか(指揮)、大西宇宙(バリトン)	1,198人
7	1月13日(金)	すみだクラシックへの扉 第12回	1,142人
	1月14日(土)	[出演]高関健(指揮)、ネルソン・ゲルナー(ピアノ)	1,430人
8	3月17日(金)	すみだクラシックへの扉 第13回	1,296人
	3月18日(土)	[出演]大植英次(指揮)、小曾根真(ピアノ)	1,501人

〈トリフォニーホール・シリーズ〉 定期演奏会			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	5月21日(土)	第641回〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]佐渡裕(指揮)	1,555人
2	7月9日(土)	第642回〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]クリスティアン・アルミンク(指揮)、今井実希(ソプラノ)、清水 徹太郎(テノール)、晴雅彦(バリトン)	1,252人
3	9月10日(土)	第643回〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]マルクス・シュテンツ(指揮)	1,035人

〈トリフォニーホール・シリーズ〉 定期演奏会			
回	実施日	事業内容	入場者数
4	10月1日(土)	第644回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]尾高忠明(指揮)、ユリアーネ・バンゼ(ソプラノ)	934人
5	11月3日(木・祝)	第645回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]マクシム・エメリヤニチェフ(指揮)、アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ)	977人
6	1月21日(土)	第646回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]井上道義(指揮)、工藤和真(テノール)、大西宇宙(バリトン)、小林沙羅(ソプラノ)	1,353人
7	3月4日(土)	第647回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 [出演]インゴ・メッツマッハー(指揮)、クリスティアン・テツラフ(ヴァイオリン)	1,013人

室内楽シリーズ(小ホール)			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月11日(月)	室内楽シリーズXIX 第149回 「春の夜の夢」 Produced by 渡辺泰(NJPフルート&ピッコロ奏者)	197人
2	6月16日(木)	室内楽シリーズXIX 第150回 「ブラームスの室内楽 ～無常の煌めきを聴く～」Produced by 飯島哲蔵(NJPチェロ奏者)	208人
3	9月8日(木)	室内楽シリーズXIX 第151回 「～六重奏のタベ！6人の個性が一つになった時、輝きが生まれ、名曲が七色に開花します！～」Produced by 桑田歩(NJP首席チェロ奏者)	215人
4	10月12日(水)	室内楽シリーズXIX 第152回 「音色、いろいろ」Produced by 原田遼太郎(NJPコントラバス奏者)	138人
5	11月1日(火)	室内楽シリーズXIX 第153回 「スリー・ダンス・エピソード」 Produced by 佐藤和彦(NJP首席テューバ奏者)	163人
6	12月6日(火)	室内楽シリーズXIX 第154回 「ヴィオラ！ヴィオラ！ヴィオラ！ヴィオラ！」 Produced by 吉鶴 洋一(NJPヴィオラ奏者)	174人
7	1月16日(月)	室内楽シリーズXIX 第155回 「打楽器のある室内楽作品の魅力」 Produced by 山内創一朗(NJP副首席ティンパニ奏者)	136人
8	3月2日(木)	室内楽シリーズ XIX 第156回 「文学と音楽と 翻訳家:柴田元幸さんをお迎えして、again!」 Produced by 深谷まり(NJP第2ヴァイオリン奏者)	211人

その他			
実施日	事業内容	入場者数	
12月18日(日)	「第九」特別演奏会 2022 [出演]佐渡 裕(指揮)、高野百合絵(ソプラノ)、清水華澄(メゾ・ソプラノ)、福井敬(テノール)、平野和(バリトン)、二期会合唱団、栗友会合唱団	1,510人	

大小ホールの特性を活かす多彩な公演を共催として招致することで公演事業の充実を図ったが、海外からのグループ編成によるアーティストの来日がかかわらず2公演が中止となった。また、区内で活動する音楽団体が中心となって実施している「すみだストリートジャズフェスティバル」は、今年度はプレイベントとして開催した。

### ■共同主催公演

すみだストリートジャズフェスティバル 2022 プレイベント			
実施日	会場	出演団体	入場者数
8月14日(日)	大ホール	1 堅川中学校吹奏楽部(吹奏楽部・三味線部)	228人
		2 立志舎	241人
		3 東奥寺	242人
		4 NEUTRAL ZONE	283人
		5 CARATRIUM	191人
		6 The Natyural 7	216人

### ■その他共催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	6月3日(金)	アルゲリッチ&フレンズ イヴリー・ギトリスへのオマージュ [出演] マルタ・アルゲリッチ、酒井茜(ピアノ)、辻彩奈(ヴァイオリン)	1,410人
2	6月28日(火) 6月29日(水)	エリーナ・ガランチャ スペシャルリサイタル [出演] エリーナ・ガランチャ(ソプラノ)、マルコム・マルティノー(ピアノ)	1,585人 1,528人
3	11月14日(月)	アルゲリッチ&フレンズ ～イヴリー・ギトリスへのオマージュ、再び [出演] マルタ・アルゲリッチ、海老彰子(ピアノ)、辻彩奈、村田夏帆(ヴァイオリン)	1,728人
4	11月27日(日)	群馬交響楽団 東京公演 [出演] ジョセフ・ウォルフ(指揮)、オーレン・シェブリン(チェロ)、群馬交響楽団(管弦楽)	550人
5	12月3日(土)	【公演中止】ケルティック・クリスマス 2022 ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
6	12月7日(水)	ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2022 [出演] リチャード・カーシー(指揮)、THE ORCHESTRA JAPAN(管弦楽)、ささきフランチェスコ(ナビゲーター)ほか	1,627人
7	12月23日(金)	【公演中止】クリスマス☆ゴスペル 2022～グローリー・ゴスペル・シンガーズ～ ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—

## (2) アウトリーチ事業

オーケストラ演奏を地域住民に届ける「コミュニティ・コンサート」は、区内4校の児童・生徒および地域の方々を対象に、感染対策が施されたトリフォニーホールで実施した。区立小中学校での「音楽指導事業」、福祉施設等での「ふれあいコンサート」などに加え、令和4年度からあらたに「音楽療法を取り入れたアウトリーチ」「墨田区立中学校吹奏楽への音楽指導」「小中学校向け音楽づくりワークショップ」事業を開始した。

### ■音楽指導事業

回	実施日	会場	指導内容	指導者数	生徒数
1	6月24日(金)	東吾嬭小	フルート、ピアノ	2人	97人
2	7月1日(金)	第四吾嬭小	弦楽四重奏	4人	80人
3	7月4日(月)	第三寺島小	トランペット、ホルン、トロンボーン	3人	115人
4	7月12日(火)	業平小	ヴァイオリン、コントラバス	2人	92人
5	7月14日(木)	吾嬭第二中	ヴァイオリン、チェロ	2人	110人
6	7月15日(金)	両国小	トランペット、ピアノ	2人	125人
7	7月15日(金)	寺島中	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	160人
8	7月19日(火)	錦糸中	チェロ、ホルン、ピアノ	3人	61人
9	9月6日(火)	文花中	弦楽四重奏	4人	98人
10	9月27日(火)	隅田小	ホルン、ピアノ	2人	134人
11	9月27日(火)	第三吾嬭小	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3人	85人
12	10月11日(火)	言問小	ヴァイオリン二重奏	2人	57人
13	10月27日(木)	第二寺島小	チェロ、コントラバス、ピアノ	3人	90人
14	10月28日(金)	横川小	ヴァイオリン、コントラバス、オーボエ、ピアノ	4人	147人
15	11月7日(月)	錦糸小	弦楽四重奏	4人	112人
16	12月5日(月)	吾嬭立花中	打楽器三重奏	3人	136人
17	12月5日(月)	曳舟小	オーボエ、ピアノ	2人	163人
18	12月7日(水)	八広小	トランペット、ピアノ	2人	163人
19	12月7日(水)	緑小	ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ	3人	162人
20	12月8日(木)	本所中	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	176人
21	12月8日(木)	文花中夜間	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	42人
22	12月9日(金)	墨田中	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	160人
23	12月19日(月)	第一寺島小	チェロ、ピアノ	2人	151人
24	12月19日(月)	菊川小	トランペット、ホルン、トロンボーン	3人	130人
25	12月20日(火)	二葉小	ヴァイオリン、打楽器、打楽器	3人	216人
26	12月21日(水)	押上小	ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノ	3人	173人
27	12月23日(金)	吾嬭立花の森小	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	111人
28	1月18日(水)	梅若小	ヴァイオリン、ホルン、ピアノ	3人	116人
29	1月26日(木)	中和小	ヴァイオリン、ピアノ	2人	57人
30	2月3日(金)	柳島小	ヴァイオリン、コントラバス	2人	150人

回	実施日	会場	指導内容	指導者数	生徒数
31	2月14日(火)	外手小	トランペット、ピアノ	2人	149人
32	2月17日(金)	中川小	ヴァイオリン、ハーブ	2人	58人
33	2月17日(金)	小梅小	ヴァイオリン、ヴィオラ	2人	115人
34	3月1日(水)	両国中	弦楽四重奏	4人	208人
35	3月8日(水)	豎川中	クラリネット、ホルン、ピアノ	3人	240人
36	3月9日(木)	桜堤中	弦楽四重奏	4人	290人
合計				100人	4,729人

## ■ふれあいコンサート

回	実施日	会場	内容	出演者数	観客数
1	7月5日(火)	区役所リバーサイドホール	金管五重奏	5人	136人
2	8月31日(水)	太平保育園	ヴァイオリン二重奏	2人	80人
3	9月6日(火)	亀沢のぞみの家	弦楽四重奏	4人	25人
4	10月21日(金)	本所保健センター	弦楽四重奏	4人	18人
5	10月22日(土)	シルバープラザ梅若	ヴァイオリン、ヴァイオリン、打楽器	3人	58人
6	11月14日(月)	すみだ福祉保健センター	ヴァイオリン、コントラバス、クラリネット	3人	20人
7	12月1日(木)	おおぞらひだまり	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3人	31人
8	12月8日(木)	社会福祉会館	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	56人
9	12月16日(金)	中川保育園	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	58人
10	12月28日(水)	墨田さんさんプラザ	ヴァイオリン、ヴァイオリン、打楽器	3人	64人
11	1月17日(火)	すみだふれあいセンター	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	72人
12	2月19日(日)	八広図書館	ヴァイオリン、オーボエ、ピアノ	3人	30人
13	2月22日(水)	梅若橋コミュニティ会館	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3人	69人
14	2月23日(木・祝)	なりひらホーム	チェロ、フルート、打楽器	3人	25人
15	2月24日(金)	ワクワク工房デイサービス	ヴァイオリン、チェロ、コントラバス	3人	17人
16	3月19日(日)	トリフォニーホール 小ホール	ヴァイオリン、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス	10人	283人
17	3月27日(月)	喜楽里すみだ工房	ヴァイオリン、ハーブ	2人	36人
合計				60人	1,078人



## ■音楽療法を取り入れたアウトリーチ

回	実施日	会場	内容	出演者数	児童数
1	9月5日(月)	隅田小学校 特別支援学級 「なかよし学級」	指揮者体験、弦楽器・打楽器演奏体験、 弦楽四重奏コンサート鑑賞、ほか	4人	16人
2	9月6日(火)			4人	16人
3	9月12日(月)			5人	16人
4	9月13日(火)			5人	16人
5	9月20日(火)	第二寺島小学校 特別支援学級 「くすのき学級」	指揮者体験、弦楽器・打楽器演奏体験、 弦楽四重奏コンサート鑑賞、ほか	4人	18人
6	9月21日(水)			4人	18人
7	9月26日(月)			5人	18人
8	10月31日(月)			5人	18人
合 計				36人	136人

## ■墨田区立中学校全10校の吹奏楽部への音楽指導

回	実施日	学校	受講生数	指導楽器	講師数
1	7月15日(金)	両国中学校①	5人	ホルン、打楽器	2人
2	7月30日(土)	両国中学校①	6人	クラリネット、	1人
3	8月1日(月)	吾嬬第二中学校①	6人	フルート、ホルン、チューバ	3人
4	9月25日(日)	吾嬬第二中学校②	5人	トランペット、チューバ、打楽器	3人
5	9月29日(木)	両国中学校②	9人	フルート、トランペット、サクソフォン	3人
6	10月17日(月)	本所中学校①	8人	クラリネット、トランペット、打楽器	3人
7	10月20日(木)	桜堤中学校①	10人	クラリネット、ホルン、ティンパニ	3人
8	1月24日(火)	本所中学校②	7人	フルート、サクソフォン、ホルン	3人
9	3月3日(金)	寺島中学校①	9人	フルート、トランペット、ティンパニ	3人
10	3月10日(金)	桜堤中学校②	3人	フルート	1人
11	3月16日(木)	寺島中学校②	7人	クラリネット、ホルン、チューバ	3人
12	3月27日(月)	墨田中学校①	9人	クラリネット、ホルン、トロンボーン	3人
合 計			84人	合 計	31人

## ■小中学校向け音楽づくりワークショップ

回	実施日	学校名	内容	対象者	参加人数
1	8月29日(月)	寺島中学校	One Day セッション	中学校音楽教諭	12人
2	9月28日(水)	第一寺島小学校	One Day セッション	5年生	57人
3	9月30日(金)	隅田小学校	リズムカルキッチン	5年生	81人
4	10月14日(金)	八広小学校	リズムカルキッチン	5年生	95人
5	10月28日(金)	東吾嬬小学校	ミュージック・クロック	5年生	62人
6	11月9日(水)	第一寺島小学校	鑑賞に関するワークショップ	小学校音楽教諭	27人
合 計					334人

### (3) その他、パイプオルガン及びホールに親しむ機会の提供

音楽をより身近に感じてもらう機会を設け、来場者の拡大を図った。

#### ■オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー

実施日	事業内容	参加者数
6月22日(水)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2022-23 対象:未就学児	[第1回] 16人
		[第2回] 30人
7月15日(金)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2022-23 対象:一般	[第1回] 18人
		[第2回] 21人
1月7日(土)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2022-23 対象:[第1回] 聴覚に障害のある方 [第2回] 視覚に障害のある方	[第1回] 9人
		[第2回] 19人
2月7日(火)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2022-23 対象:[第1回] 車椅子ご利用の方 [第2回] 一般	[第1回] 16人 (車椅子3人、付添13人)
		[第2回] 19人

#### ■区民向けオルガン体験会「パイプオルガンを弾いてみよう！！」

「一回体験コース」※鍵盤楽器経験不問

実施日	事業内容	参加者数
7月2日(土)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2022-23 対象:[第1回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上 [第2回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上 [第3回] 墨田区在住・在学の小学3年生～中学生	[第1回] 5人 (体験者4人、見学者1人)
		[第2回] 4人 (体験者3人、見学者1人)
		[第3回] 11人 (体験者4人、見学者7人)
10月23日(日)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2022-23 対象:[第1回] 墨田区在住・在学の小学3年生～中学生 [第2回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上 [第3回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上	[第1回] 17人 (体験者6人、見学者11人)
		[第2回] 8人 (体験者5人、見学者3人)
		[第3回] 7人 (体験者6人、見学者1人)
2月9日(木)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2022-23 対象:[第1回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上 [第2回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上	[第1回] 8人 (体験者6人、見学者2人)
		[第2回] 7人 (体験者6人、見学者1人)

「じっくり体験コース」※鍵盤楽器経験のある方

実施日	事業内容	参加者数
7月27日(水) 7月28日(木) 7月29日(金) 7月30日(土)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2022-23 「夏休み自由研究スペシャル！」 対象:墨田区在住・在勤・在学の小学3年生～中学生 7月27日(水) 楽器説明&グルーブレッスン 7月28日(木) 個人レッスン※3名ずつ 7月29日(金) 個人レッスン※3名ずつ 7月30日(土) 受講生同士で弾きあい聴きあい試演会	体験者6人  [最終日の試演会] 33人 (体験者6人、見学者27人)

実施日	事業内容	参加者数
11月28日(月) 11月29日(火) 11月30日(水) 12月2日(金)	<b>パイプオルガンを弾いてみよう！！2022-23</b> 対象:墨田区在住・在学の小学3年生以上どなたでも可 11月28日(月) 楽器説明&グループレッスン 11月29日(火) 個人レッスン※3名ずつ 11月30日(水) 個人レッスン※3名ずつ 12月2日(金) 受講生同士で弾きあい聴きあい試演会	体験者6人  [最終日の試演会] 22人 (体験者6人、見学者16人)
1月23日(月) 1月24日(火) 1月25日(水) 1月28日(土)	<b>パイプオルガンを弾いてみよう！！2022-23</b> 対象:墨田区在住・在勤・在学の小学3年生以上どなたでも可 1月23日(月) 楽器説明&グループレッスン 1月24日(火) 個人レッスン※3名ずつ 1月25日(水) 個人レッスン※3名ずつ 1月28日(土) 受講生同士で弾きあい聴きあい試演会	体験者6人  [最終日の試演会] 15人 (体験者6人、見学者9人)

## 5 区民等による音楽活動の促進及び育成

音楽による次世代育成やコミュニティ形成に資するべく、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの持続的な練習活動および区内の音楽団体が集う「すみだ音楽祭」を開催した。

### (1) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの運営

回	実施日	事業内容	入場者数
1	8月7日(日)	トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ アンサンブル発表会 [出演] トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ※関係者のみの公演	80人
2	3月26日(日)	トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ 第33回演奏会 [出演] 松尾葉子(音楽監督・指揮)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ	611人

### (2) 区民音楽祭「すみだ音楽祭 2022」の実施

実施日	施設	出演団体	入場者数
8月27日(土)	大ホール	1 STP JAZZ FUNK ORCHESTRA	87人
		2 ファイアーバード・ジャズオーケストラ	121人
		3 ハイファイブ・ジャズオーケストラ	55人
		4 スウィングライツ・ジャズオーケストラ	163人
8月28日(日)	大ホール	1 合唱団 橘	157人
		2 女声合唱団シューベルト・コア	521人
		3 すみだ男声合唱団&コール・アミーガ	258人
合計			1,362人

## 6 公演情報等の集配業務

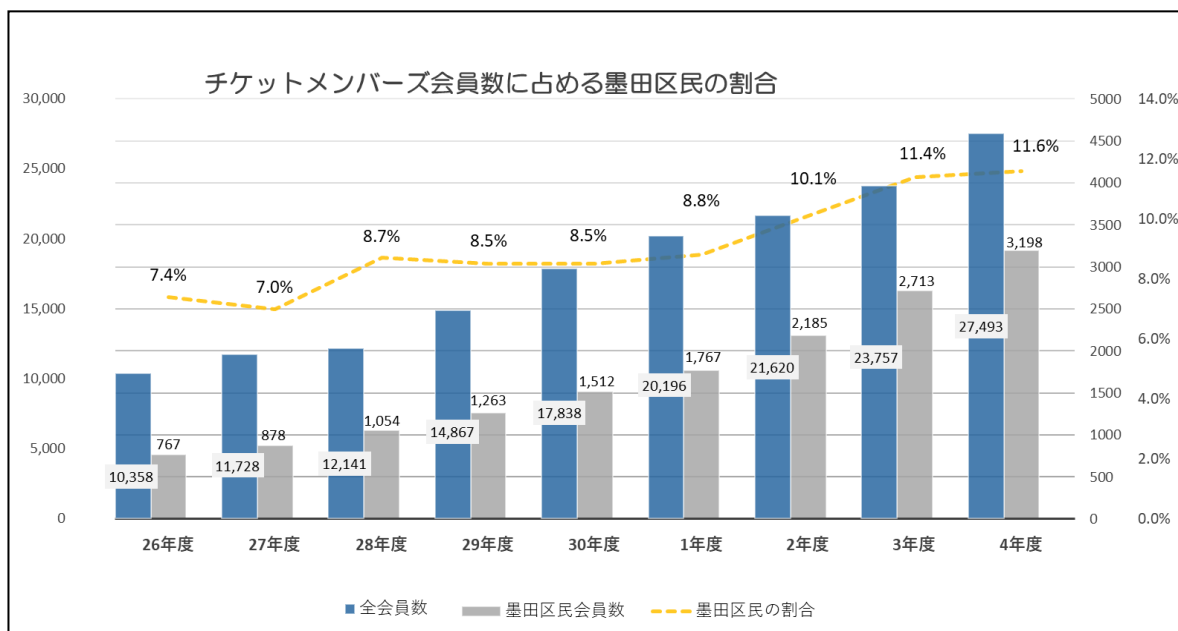
当ホールの存在感を高めるため、館内や錦糸町駅周辺を中心としたサインやポスターの掲出を行うとともに、公演情報についてはWEB、SNS等を中心に発信した。

### (1) 会員組織「トリフォニーホール・チケットメンバーズ」年会費及び特典

年会費は無料で、会員には特典として定期的に公演情報等をメールマガジンで配信、チケット先行予約、チケット割引販売、チケットのオンライン購入、公開リハーサル招待、ホール近隣ホテルのレストラン割引サービスがある。

### (2) トリフォニーホール・チケットメンバーズ会員数と墨田区民の割合

引き続き新型コロナウイルスの影響が続く中でも戦略的な事業展開を図り、全体の登録者数は増加傾向にあり、墨田区民の登録者の割合も伸びている。



### (3) 地域別会員数の推移

年度	地域 (人口)	合計	墨田区	江東区	葛飾区	江戸川区	その他	23区以外	千葉県	神奈川県	埼玉県	茨城県	その他の 県
			(28.2万)	(52.3万)	(45.0万)	(69.0万)	23区 (857万)	都内 (424万)	(626万)	(921万)	(732万)	(283万)	
4年度	会員数	27,493	3,198	1,158	477	764	7,523	2,097	3,900	3,090	2,174	474	2,638
	割合	100%	11.6%	4.2%	1.7%	2.8%	27.5%	7.6%	14.2%	11.2%	7.9%	1.7%	9.6%
3年度	会員数	23,757	2,713	1,001	408	636	6,527	1,852	3,430	2,670	1,869	414	2,237
	割合	100%	11.4%	4.2%	1.7%	2.7%	27.5%	7.8%	14.4%	11.2%	7.9%	1.7%	9.5%
2年度	会員数	21,620	2,185	887	374	556	6,109	1,634	3,148	2,462	1,747	383	2,135
	割合	100%	10.1%	4.1%	1.7%	2.6%	28.3%	7.6%	14.6%	11.4%	8.1%	1.8%	9.7%

## 7 施設の利用及び維持管理に関する業務

※新型コロナウイルスの影響による臨時休館中の日数・区分数等は除く。

### (1) 施設利用実績

大ホール (1,801 席)	4年度	3年度	2年度
利用可能日数	311	287	234
利用不可日数	54	78	131
利用日数	295	244	183
本番公演数	180	152	83
新日本フィル	37	36	40
財団	55	52	21
一般	88	64	22
<b>日数利用率</b>	<b>95%</b>	<b>85%</b>	<b>78%</b>
利用可能区分数 (3区分)	915	829	651
利用区分数 (3区分)	716	553	410
新日本フィル	280	255	267
財団	235	158	93
一般	201	140	50
<b>区分利用率</b>	<b>78%</b>	<b>67%</b>	<b>63%</b>

小ホール (252 席)	4年度	3年度	2年度
利用可能日数	312	282	218
利用不可日数	53	83	147
利用日数	283	232	120
本番公演数	252	221	115
新日本フィル	11	10	6
財団	5	4	4
一般	236	207	105
<b>日数利用率</b>	<b>91%</b>	<b>82%</b>	<b>55%</b>
利用可能区分数 (3区分)	898	820	626
利用区分数 (3区分)	702	564	288
新日本フィル	51	39	26
財団	56	9	5
一般	595	516	257
<b>区分利用率</b>	<b>78%</b>	<b>69%</b>	<b>46%</b>

練習室 1 (87.2 ㎡)	4年度	3年度	2年度
利用可能日数	330	279	222
利用不可日数	35	88	143
利用日数	200	166	109
<b>日数利用率</b>	<b>61%</b>	<b>59%</b>	<b>49%</b>
利用可能区分数 (3区分)	788	578	421
利用区分数 (3区分)	338	230	150
<b>区分利用率</b>	<b>43%</b>	<b>40%</b>	<b>36%</b>

練習室 2 (20.7 ㎡)	4年度	3年度	2年度
利用可能日数	315	273	209
利用不可日数	50	92	156
利用日数	226	191	120
<b>日数利用率</b>	<b>72%</b>	<b>70%</b>	<b>57%</b>
利用可能区分数 (3区分)	739	545	368
利用区分数 (3区分)	338	257	157
<b>区分利用率</b>	<b>46%</b>	<b>47%</b>	<b>43%</b>

練習室 3 (17.7 m <sup>2</sup> )	4年度	3年度	2年度
利用可能日数	314	269	217
利用不可日数	51	96	148
利用日数	217	169	136
<b>日数利用率</b>	<b>69%</b>	<b>63%</b>	<b>63%</b>
利用可能区分数 (3区分)	729	539	334
利用区分数 (3区分)	302	201	147
<b>区分利用率</b>	<b>41%</b>	<b>37%</b>	<b>44%</b>

## (2) パイプオルガン利用実績

	4年度	3年度	2年度
本番利用	50 回	40 回	21 回
レジスト及び リハーサル利用	32 回	24 回	27 回
合 計	82 回	64 回	48 回

## (3) 公演実施状況(ジャンル別)

大ホール(1,801 席)	4年度		3年度		2年度	
	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
ジャンル						
クラシック	141	78.3%	111	73.0%	72	86.8%
オーケストラ	100	55.5%	80	52.6%	57	65.7%
新日本フィル	49	27.2%	43	28.3%	43	51.8%
その他(プロ)	1	0.6%	2	1.3%	1	1.2%
その他(アマ)	50	27.7%	35	23.0%	13	15.7%
室内楽・器楽	4	2.2%	0	0.0%	2	2.4%
ピアノ	4	2.2%	2	1.3%	0	0.0%
オルガン	31	17.2%	28	18.4%	13	15.7%
オペラ・オペレッタ	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
声 楽	2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
現代音楽	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 唱	8	4.4%	3	2.0%	0	0.0%
吹奏楽	4	2.2%	5	3.3%	0	0.0%
ジャズ・ポップス	6	3.3%	12	7.9%	0	0.0%
演 歌	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%
音楽教室等発表会	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
コンクール	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%



大ホール(1,801 席)	4年度		3年度		2年度	
ジャンル	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
邦楽	2	1.1%	0	0.0%	1	1.2%
演芸	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%
その他	19	10.6%	21	13.8%	8	9.6%
合 計	180	100%	152	100%	83	100%
入場者数	139,539		87,319		39,837	
平均入場者数	775		574		479	

小ホール(252 席)	4年度		3年度		2年度	
ジャンル	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	137	54.3%	122	55.2%	71	61.8%
オーケストラ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新日本フィル	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(プロ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(アマ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
室内楽・器楽	76	30.1%	58	26.2%	44	38.3%
ピアノ	37	14.7%	34	15.4%	17	14.8%
オルガン	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
オペラ・オペレッタ	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
声 楽	23	9.1%	30	13.6%	10	8.7%
現代音楽	4	1.6%	5	2.3%	1	0.8%
合 唱	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
吹奏楽	1	0.4%	1	0.5%	0	0.0%
ジャズ・ポップス	3	1.2%	3	1.4%	0	0.0%
演 歌	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
音楽教室等発表会	51	20.2%	43	19.5%	21	18.3%
コンクール	27	10.7%	27	12.2%	11	9.6%
邦楽	13	5.2%	5	2.3%	2	1.7%
演芸	3	1.2%	4	1.8%	1	0.8%
その他	13	5.2%	11	5.0%	8	7.0%
合 計	252	100%	221	100%	115	100%
入場者数	25,389		19,127		8450	
平均入場者数	101		86		73	

## Ⅱ すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

### 1 資料収集・保管事業

区の収集方針に従い、学芸員が専門性を活かしながら積極的に資料を調査し、作品収集に貢献した。区の求めに応じて候補資料の選定から収集まで全面的に協力を行うとともに、浮世絵及び関連資料を次代へと受け継げるよう適切に収蔵品を管理・保管した。

#### (1) 資料収集

区が収集する資料の候補について、専門的な立場から情報収集及び調査研究を行い、すみだ北斎美術館資料収集委員会及び評価委員会の運営に協力した。

また、新たに収集した資料の撮影及び収蔵データベースへの登録を行った。

本年度も新たに寄託作品を受け入れることとなり、今後の展覧会企画につなげることができた。

#### (2) 資料保管

資料を安全に維持保存するため、館内の環境整備及び資料の修復を行った。

- ・環境整備: 虫菌害環境調査及びIPM(防除対策)のコンサルティングを実施し、IPM計画を策定のうえ、館内の環境整備を図った。

資料保管容器を67点制作した。

- ・資料修復: 肉筆3点、版画1点の修復を実施した。
- ・燻 蒸: 新規に収蔵した作品や図書資料の燻蒸を行った。
- ・学術研究等のための資料の撮影又は熟覧: 実施なし

- ・資料の貸出状況:

(作品貸出)

目黒区美術館「東京の猫たち」展へ版画3点、版本10冊

九州国立博物館 特別展「北斎」へ版画10点、版本2冊、寄託資料1点

米沢市上杉博物館「米沢市上杉博物館×綴プロジェクト 日本画をたのしもう」へ高精細複製画7点

板橋区立美術館「椿椿山展」へ肉筆1点

(作品借用)

佐野美術館より「北斎 百鬼見参」展出品の肉筆1点、能面1点

国立能楽堂より「北斎 百鬼見参」展出品の能関係資料2点、能面1点

(作品返却)

寄託作品「新年の遊女図」(肉筆画)返還対応

## 2 調査研究事業

北斎を中心にその門人の作品や関連及び交流のあった人物、すみだをはじめとする北斎ゆかりの地との関わりなど、多角的な視点から調査研究を行った。その成果をデータベースに反映させ情報の蓄積や充実を図り、展示事業や刊行物等を通じて一般から専門家まで広く情報を発信した。

「北斎花らんまん」展は、北斎と門人が描いた桜をはじめとした四季の花々や花の意匠を描いた作品を展示し、描かれた花々を通じて花を愛でる文化を伝えた。季節的にも合ったテーマであり、感染症拡大の状況が落ち着いてきたこと、ゴールデンウィークの時期にも重なり、多くの来館者を迎えることができた。

特別展「北斎 百鬼見参」は、従来北斎の鬼をテーマとした展覧会がないことに着目し、北斎と門人の鬼を描いた当館所蔵作品と他館からの借用作品を補足して展示、北斎が描く鬼の多彩な魅力を伝えることに主眼を置いた。6月下旬から7月前半にかけては感染症拡大の影響を受けて来館者数が落ち込んだが、テーマ的関心が高かったこと、テレビや新聞にも取り上げられたことなどから、最終的にコロナ禍後、最多の観覧者数となった。また、研究の成果及び当館の宣伝を広く長く伝えられるよう公式図録として『北斎 百鬼見参』(講談社)を出版した。

「北斎ブックワールド」展は、収蔵作品の日頃の調査に基づき、書誌学的な板本に関する基礎知識、板本で行われた絵師の表現技法や、初摺・後摺などの出版事情による板本の違いなどの様々なトピックス、現在当館が所蔵するまでに、様々な人の手を経て伝えられてきたことを示すために板本に残された所蔵者の痕跡、所蔵する貴重書や北斎のターニングポイントとなった板本を展示した。出品作品の展示意図は「ここに注目」パネルを作成し、キャッチコピー的な一言を付して興味をそそるなど工夫した。

「北斎かける百人一首」展では、「百人一首乳母かゑとき」シリーズを中心に北斎と門人が『百人一首』の歌や歌人を題材に描いた作品を展覧し、北斎と『百人一首』の力がかけ合わせられた作品の数々を紹介した。開催時期に相応しいテーマだったこと、テレビや新聞にも取り上げられたこと、また感染拡大の状況が落ち着いたことなどから、観覧者数も多かった。

「北斎バードパーク」展では、北斎と門人の描いた鳥をテーマとし、鳥の解説のパネルをつけたほか、作品中に描かれた鳥の意味の考察を深めるなどして、幅広い層の来館を促すように取り組んだ。

さらに、テレビ番組への専門家枠としての出演、長野県立美術館北斎展企画委員会への出席、すみゆめ参加団体へのレクチャーなど、館外でも北斎の業績の紹介に努めた。

このほか、『すみだ北斎美術館 研究紀要』第1号を発行し、学芸員による論文4本を掲載した。

### 3 展示事業

コロナ禍の様々な制約がある中でも、徹底した感染症拡大防止対策を講じ、企画展を開催した。また、講座やイベントなどの関連企画、教育普及活動を可能な限り対面型で実施した。対面型での実施が難しい場合には、企画展に関するスライドトークのオンライン配信などを行った。

#### (1) 常設展示の実施

4階の常設展示室では、「すみだと北斎とのつながり」や「北斎の画業と生涯」をテーマとして、北斎の代表的な作品を高精細レプリカにより紹介するとともに、情報端末を活用した資料の展示を行った。

また、これら資料の一部展示替えを3回行った。

・ 観覧料:一般 400 円、高大生・65 歳以上 300 円

・ 常設展示の観覧者数

(単位:人)

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	ぐるっとパス	計
常設展示のみ	5,559	878	1,611	736	639	128	13	30	1,363	10,957
企画展示・常設展プラス同時観覧	48,571	5,707	12,919	1,031	2,329	2,907	1,246	4,799		79,509
計	54,130	6,585	14,530	1,767	2,968	3,035	1,259	4,829	1,363	90,466

・ 常設展示のみの観覧料収入

(単位:円)

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	計
個人	2,148,800	259,440	469,740	2,877,980
前売(個人)	0	0	0	0
団体	0	0	0	0
計	2,148,800	259,440	469,740	2,877,980

## (2) 企画展示の実施

年間5回の企画展を開催した(令和3年度からの継続、令和5年度への継続含む)。また、令和3年度に引き続き「常設展プラス」を2回実施した。1回目の会期中に「常設展プラス」内に特別展示を設け、「北斎の描いた山」を展観した。

研究成果の発表や展覧会の記録を目的とするとともに来館者サービスの一環として、リーフレットを作成・販売した。

### ■企画展 会期、観覧者数等

回	展覧会タイトル	会期	観覧者数 ※	1日平均
			観覧料収入	1日平均
1	北斎花らんまん	4月1日～5月22日 (45日間)	12,444人	277人
			9,296,260円	206,584円
2	特別展 北斎 百鬼見参	6月21日～8月28日 (60日間)	18,040人	301人
			16,567,520円	276,125円
3	北斎ブックワールド —知られざる板本の世界—	9月21日～11月27日 (59日間)	14,205人	241人
			10,942,200円	185,461円
4	北斎かける百人一首	12月15日～2月26日 (60日間)	18,407人	307人
			13,775,430円	229,591円
5	北斎バードパーク	3月14日～3月31日 (16日間)	5,722人	358人
			4,525,420円	282,839円
計		令和4年度 (240日間)	68,818人	287人
			55,106,830円	229,612円

### ■常設展プラス 会期、観覧者数等

回	展覧会タイトル	会期	観覧者数 ※	1日平均
			観覧料収入	1日平均
1	常設展プラス 隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画	4月1日～5月22日、 9月13日～令和5年 3月31日 (213日間)	7,959人	37人
			4,901,860円	23,013円
2	常設展プラス 隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画 特別展示：北斎の描いた山	5月24日～6月12日 (18日間)	2,732人	152人
			1,638,540円	91,030円
計		令和4年度 (231日間)	10,691人	46人
			6,540,400円	28,313円

※ 観覧者数はチケットによる入館者数

## ■各展覧会の実施概要

### ① 北斎花らんまん

・展示概要： 四季の花々をテーマに、展示期間に咲いている桜などの春の花々を中心として、季節の花々が描かれた作品を紹介し、北斎の作品に興味がある来館者層のみならず、花に興味がある層にも楽しんでもらえるように、作品に描かれている花の解説の詳しいキャプションを交えて展示した展覧会である。

- ・開催期間： 令和4年4月1日(金)から  
5月22日(日)まで
- ・開催施設： 3階企画展示室
- ・観覧料： 一般 1,000 円、高大生・  
65 歳以上 700 円、中学生・  
障がい者 400 円



葛飾北斎「桔梗にとんぼ」

・観覧者数(4月1日～5月22日)

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	7,238	565	2,448	119	462	411	243	958	12,444
団体	0	0	0	0	0	0			
計	7,238	565	2,448	119	462	411	243	958	12,444

・観覧料収入(4月1日～5月22日)

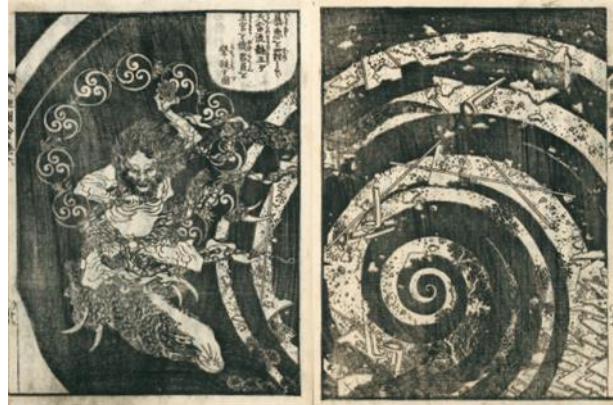
観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	7,097,200	388,220	1,640,800	35,040	135,000	9,296,260
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	7,097,200	388,220	1,640,800	35,040	135,000	9,296,260

### ② 特別展 北斎 百鬼見参

・展示概要： 日本人は鬼の登場する創作物を、神話・伝説、芸能、小説、マンガ、アニメ、ゲームに至るまで数多く作ってきた。それだけ日本人の心に鬼は深く根ざし、その精神世界の形成に大きな影響を与えている。本展では所蔵作品を中心に初公開の貴重な北斎の肉筆「道成寺図」や人気の浮世絵版画などを紹介し、鬼才・北斎がどのように鬼を捉え、表現してきたかに迫る展覧会である。



- ・開催期間：令和4年6月21日(火)から8月28日(日)まで
- ・開催施設：3階、4階企画展示室
- ・観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、中学生・障がい者400円



葛飾北斎『釈迦御一代記図会』

六暴悪を罰して天雷流離王が王宮を焼君臣を撃殺す図

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	※招待券	計
個人	11,297	1,279	2,121	414	622	765	355	1,187	18,040
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	11,297	1,279	2,121	414	622	765	355	1,187	18,040

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	13,158,300	1,128,600	1,808,460	164,160	242,480	16,502,000
前売(個人)	57,600	1,440	6,480	0	0	65,520
団体	0	0	0	0	0	0
計	13,215,900	1,130,040	1,814,940	164,160	242,480	16,567,520

③ 北斎ブックワールド ―知られざる板本の世界―

- ・展示概要：江戸時代に描かれた浮世絵の形態の一つである本を展観する。北斎は物語の挿絵や、自らの絵を集めた絵手本など、多くの板本を出版した。北斎や門人が描いた板本作品約110点を展示し、書誌学の成果に基づき、江戸時代から伝えられた板本の魅力を紹介する展覧会である。

- ・開催期間：令和4年9月21日(水)から11月27日(日)まで
- ・開催施設：3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円



葛飾北斎『さむたらかすみ』

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	8,661	819	2,632	121	409	471	278	814	14,205
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	8,661	819	2,632	121	409	471	278	814	14,205

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	8,368,900	560,980	1,764,700	35,580	118,920	10,849,080
前売(個人)	84,800	2,240	5,600	480	0	93,120
団体	0	0	0	0	0	0
計	8,453,700	563,220	1,770,300	36,060	118,920	10,942,200

④ 北斎かける百人一首

- ・展示概要：北斎最後の大判錦絵シリーズ「百人一首乳母かゑるとき」を中心に、江戸時代の『百人一首』事情も紹介しながら、北斎と門人たちが描いた『百人一首』にまつわる作品約105点を紹介する展覧会である。

- ・開催期間：令和4年12月15日(木)から  
令和5年2月26日(日)まで

- ・開催施設：3階企画展示室

- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上  
700円、中学生・障がい者300円



葛飾北斎「五歌仙 月」

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	10,498	1,607	2,955	189	480	744	273	1,661	18,407
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	10,498	1,607	2,955	189	480	744	273	1,661	18,407

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	10,416,890	1,099,280	1,976,240	55,380	139,320	13,687,110
前売(個人)	69,600	11,200	5,600	960	960	88,320
団体	0	0	0	0	0	0
計	10,486,490	1,110,480	1,981,840	56,340	140,280	13,775,430

### ⑤ 北斎バードパーク

- ・展示概要：北斎は鳥を描いた作品を多く残している。江戸時代の人々が目にしていた様々な種類の鳥から、意匠として描き出された鳥、画面に奥行きや趣を与えたり、場面の象徴として描かれた鳥など、北斎一門の描いた鳥を幅広く紹介し、その魅力を伝える展覧会である。
- ・開催期間：令和5年3月14日(火)から  
3月31日(金)まで
- ・開催施設：3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上  
700円、中学生・障がい者300円



葛飾北斎「杜鵑」

#### ・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	3,788	441	892	96	114	221	59	111	5,722
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	3,788	441	892	96	114	221	59	111	5,722

#### ・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	3,532,400	295,820	587,720	28,080	30,840	4,474,860
前売(個人)	40,800	1,120	8,400	240	0	50,560
団体	0	0	0	0	0	0
計	3,573,200	296,940	596,120	28,320	30,840	4,525,420

### ⑥ 常設展プラス 隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画

- ・展示概要：全長約7mに及ぶ「隅田川両岸景色図巻」の複製画と、『北斎漫画』や『一筆画譜』、『をどり独り稽古』などの北斎の絵手本から数冊ずつ実物大高精細レプリカを展示する。また、期間限定で常設展プラス会場内に「特別展示：北斎の描いた山」を展示した。

・開催期間：

- 1 令和4年4月1日(金)から  
令和4年6月12日(日)まで  
(うち5月24日(火)から6月12日(日)  
まで「隅田川両岸景色図巻(複製画)と  
北斎漫画及び特別展示:北斎の描いた  
山」を実施。)
- 2 令和4年9月13日(火)から  
令和5年3月31日(金)まで



葛飾北斎『北斎漫画』初編

・開催施設：4階企画展示室

- ・観覧料：一般700円、高大生・65歳  
以上600円、中学生・障がい者  
200円

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	7,089	996	1,871	92	242	295	38	68	10,691
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	7,089	996	1,871	92	242	295	38	68	10,691

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	4,798,500	587,760	1,077,000	18,200	47,040	6,528,500
前売(個人)	11,900	0	0	0	0	11,900
団体	0	0	0	0	0	0
計	4,810,400	587,760	1,077,000	18,200	47,040	6,540,400

#### 4 教育普及事業

感染症拡大防止の観点から、教育普及活動を制限せざるを得ない場合もあったが、学校への出張授業、企画展開催に合わせたホワイエでのワークショップ等については、感染拡大防止対策を講じながら可能な限り対面型で実施した。

##### (1) 館に親しみを持つ層の拡大

今年度は、個々で楽しめるようなワークショップや普及事業を可能な限り講座室で実施し、従来のように対面で作品に親しむ機会を設けることができた。感染症の拡大により、当初計画の展覧会に関連した講演やワークショップ等を中止せざるを得ない時期もあったが、対面での実施が難しい場合にはオンラインでスライドトークを配信し、美術館に親しみを持つ層の拡大に努めた。

事業名	事業内容等	実施日	会場
スライド トーク、 講演	スライドトーク「北斎花らんまん展 後期展示の見どころ」	4/30(土)	講座室 参加者数 31名
	オンラインスライドトーク「北斎花らんまん展 前期展示の見どころ」	4/2(土)～ 5/22(日)	オンライン 総視聴数 136名
	スライドトーク「北斎 百鬼見参」展 前期の見どころ	7/2(土)	講座室 参加者数 47名
	スライドトーク「北斎 百鬼見参」展 後期の見どころ	7/30(土)	講座室 参加者数 43名
	講演会「森羅万象を描いた絵師・北斎の百鬼—多彩な表現と鬼の歴史」	8/20(土)	講座室 参加者数 46名
	スライドトーク「北斎ブックワールド」展 前期の見どころ	10/1(土)	講座室 参加者数 35名
	講演会「板本を見る、板本に触れる」	11/5(土)	講座室 参加者数 22名
	スライドトーク「北斎ブックワールド」展 後期の見どころ	11/19(土)	講座室 参加者数 21名
	スライドトーク「北斎かける百人一首」展 前期の見どころ	1/14(土)	講座室 参加者数 36名
	スライドトーク「北斎かける百人一首」展 後期の見どころ	2/4(土)	講座室 参加者数 47名
	スライドトーク「北斎バードパーク」展 前期の見どころ	3/18(土)	講座室 参加者数 30名
	企画展「北斎バードパーク」春休みの学びを応援！こども向けスライドトーク	3/19(日)	講座室 参加者数 13組 26名
ワークショップ	お持ち帰りワークショップ「北斎の花でデザインしてみよう」	4/1(金)～ 5/22(日)	3階ホワイエ 約400枚配布
	「図形で鬼を描いてみよう(シール編)」 (小学校低学年以上対象)	7/23(土)	講座室 参加者数 0名

事業名	事業内容等	実施日	会場
ワークショップ	「図形で鬼を描いてみよう(定規・コンパス編)」 (小学校中学年以上対象)	7/23(土)、 8/6(土)	4階ホワイエ 参加者数 計 17名
	「図形で描いた鬼で残暑見舞いを作ろう」(中学生以上対象)	8/6(土)	講座室 参加者数 10名
	北斎 百鬼見参 たくさんの鬼と戯れよう	6/21(火)～ 8/28(日)	4階ホワイエ
	ONI(オーエヌアイ)28 総選挙	6/21(火)～ 8/28(日)	4階ホワイエ
	「和綴じ本を作ろう」	10/8(土)	講座室 参加者数 9名
	「百人一首かるたを体験しよう！」	1/7(土)、 2/11(土・祝)	講座室 1/7:6名 2/1:10名
ワークシート・ 補助資料	ワークシート「北斎ブックワールド ―知られざる板本の世界―」	9/21(水)～ 11/27(日)	3階ホワイエ 約 500 枚配布
	「北斎かける百人一首」展をもっと楽しもう！「百人一首一覧」	12/15(木)～ 2/26(日)	3階ホワイエ 約 3360 枚配布
	「美術館でバードウォッチング よく観るガイド」	3/15(水)～ 3/31(金)	3階ホワイエ 約 550 枚配布

## (2) 児童・生徒及び教育機関に対する取組み

区内外の学校に出向き、北斎の基礎的な情報を得る講座や、北斎を学び体験する授業等、校種や学年に応じた多彩なプログラムを実施した。美術館における学校の団体利用に際しては、コロナ禍のため受け入れができず引き続き中止している。

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
出前授業	「すみだと北斎！(調べ学習)」 (墨田区立東吾嬭小学校6年生)	9/30(金)	東吾嬭小学校 各組教室	1組:28人 2組:28人
	「すみだと北斎(調べ学習)！」 (墨田区立桜堤中学校1年生)	10/28(金)	桜堤中学校各組 教室(オンライン)	173人
	「北斎の絵を描こう！」 「北斎の作品を鑑賞しよう！」 (墨田区立両国小学校6年1組)	11/7(月)	両国小学校 図工室	25人
	「北斎の絵を描こう！」 「北斎の作品を鑑賞しよう！」 (墨田区立両国小学校6年2組)	11/8(火)	両国小学校 図工室	25人
	「北斎の絵を描こう！」(墨田区立第二寺島 小学校特別支援くすのき学級)	1/21(土)	第二寺島小学校 特別支援 くすのき学級教室	18人

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
出前授業	「北斎の作品を鑑賞しよう！」 (墨田区立第二寺島小学校4年生)	1/24(火)	第二寺島小学校 各組教室	1組:38人 2組:37人
	「北斎の絵を描こう！」 (吾嬭第二中学校1年生、特別支援学級)	2/2(木)	吾嬭第二中学校 各組教室	1組:27人 2組、特支: 33人 3組:27人
	「北斎の絵を描こう！」 (墨田区立第二寺島小学校3年生)	2/3(金)	第二寺島小学校 図工室	1組:28人 2組:28人
	「北斎の作品を鑑賞しよう！」(墨田区立二葉小学校6年1組)	2/15(水)	二葉小学校 図工室	53人
	「北斎の作品を鑑賞しよう！」 (墨田区立二葉小学校6年2組、3組)	2/16(木)	二葉小学校 図工室	2組:38人 3組:39人
出前授業制作物展示	両国小学校出前授業(11/7、8実施)	12/15(木)～ 2/26(日)	3階ホワイエ	
	二葉小学校出前授業(2/15、16実施)	3/7(火)～ 3/19(日)	3階ホワイエ	

### (3) 地域との結びつきを深める取組み

例年、地域との結びつきを深めるために参加している「すみだまつり」、「北斎祭り」等のイベントを今年度は感染拡大防止対策を考慮しつつ実施した。また、「すみゆめ」や区の事業などについて、講座室を会場として提供することができた。

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
セミナー	すみだモダンフラッグシップ商品開発セミナー、発表会(区主催)	4/20(水)、7/8(金)、 9/13(火)、9/29(木)、 10/13(木)、3/16(木)	講座室	各20～ 30人
ワークショップ	「北斎小唄」 「区後援」	8/7(日)	講座室	35人
	「町会・自治会加入促進マニュアル制作座談会」(区主催)	9/3(土)	講座室	30人
イベント	「星空観察」(区主催)	8/20(土)、12/10(土)	講座室	各30人
	「北斎祭り」金魚ねふたワークショップ、園児Tシャツ展示、北斎双六	10/22(土)	講座室	60人
	KOSUGE 1-16 「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」(すみゆめ主催企画)	11/20(日)	講座室	20人

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
展示	大江戸すみだ職人展 (区主催)	9/22 (木) ~ 9/25 (日)	講座室	1,000 人
	「墨田区内の風景・名称等の写真展」 (区主催)	12/17 (土) ~ 12/21 (水)	講座室	380 人
	美術展「ジョージ・スタマタキス個展」 (区後援)	12/24 (土) ~ 12/28 (水)	講座室	120 人
シンポジウム	「北斎まつり」シンポジウム (すみゆめプロジェクト企画)	11/26 (土)	講座室	40 人
その他	「高齢者身体測定」(区主催)	10/21 (金)	講座室	30 人
	両国駅周辺地区まちづくり協議 (区主催)	3/24 (金)	講座室	15 人
	すみゆめ説明会 (区主催)	3/25 (土)	講座室	40 人

## 5 図書室運営事業

図書室は感染症拡大防止のため、日本図書館協会のガイドラインに基づく対策を講じつつ、令和3年10月28日(木)から引き続き今年度も事前予約制にて週2日(火・木)開室を行ってきた。その後は、感染者数の漸減、社会情勢などを鑑み、7月20日(水)より人数制限を設けた上での美術館開館日での開室に移行した。

## 6 施設の利用及び維持管理に関する業務

講座室は、徹底した感染症拡大防止対策を講じて貸出しを行った。

貴重な北斎作品等資料を保管・展示する美術館として、施設管理、清掃、警備等の業務実績と経験を有する第三者に委託し、適切に施設管理業務を実施した。

併せて集客施設として、受付・案内業務を接客経験の豊富なスタッフを有する専門業者に委託するとともに、感染症拡大防止対策マニュアル等に準じ、入場制限やマスク着用、検温、消毒を徹底し、館内の感染拡大防止に努めた。

このほか、設備の不具合や今後の設備整備計画について墨田区と適宜協議するなど、施設の機能維持や安全確保に努めた。



### Ⅲ 墨田区域における文化芸術活動の推進支援事業

地域における文化芸術活動が活発になるよう、区民や文化団体・アーティスト等さまざまな担い手の取組を把握し、助成制度やアートプロジェクト等の事業を通じて、それぞれの主体的で持続的な活動の展開を促した。墨田区内を中心に行われる多彩な活動を顕在化させ、情報発信や資金支援等を行うほか、文化団体やアーティストが集う機会を設けてネットワーク形成をはかり、企画実現のためのコーディネートに努めるなど、中間支援の役割を担っている。

また国や都、近隣区域の文化政策に関する情報を収集し、制度の活用により事業を充実させることで、文化芸術振興に関する専門性の向上と関連機関等との連携に努めた。

#### 1 すみだ文化芸術活動助成事業

区民の文化芸術活動の活性化と促進を図るため、以下の概要で助成事業を実施した。本年度より申請条件や選考基準を見直し(下記\*箇所)、多様な団体及び活動を支援できるように整えた。

採択活動については、すみだ文化芸術情報サイトと SNS で情報を発信し、選考委員による視察と評価コメントのフィードバック、年度末の振り返り面談を行うなど支援プログラムの充実に努めた。さらに初の試みとして、採択団体と選考委員が一堂に会する報告会を開催し、各活動についての報告と質疑応答を行った後、共通する課題についてのグループディスカッションを実施した。

#### ■事業概要

- ・ 申請要件：5人以上で構成される団体で、区民が主体となって活動していること。区内に主たる事務所又は活動拠点を有し、原則として、区内で1年以上の活動実績があること。営利団体であっても、非営利の文化事業であれば申請できることとする(\*1)。
- ・ 対象事業：広く区民等に公開される文化芸術活動で、区の文化振興に寄与する公益性の高い事業であり、原則として区内で行われるものとする。なお、同一団体による同一の活動に対する助成は、令和4年度以降、連続で5年を上限とする(\*2)。
- ・ 助成金額：対象経費の合計額の2分の1以内で、100万円を上限とする。
- ・ 選考方法：外部専門家を含む5名の選考委員により、①団体の資質、②事業の公益性、③事業の芸術性、④事業の計画性・運営面を基準に、書類審査とヒアリングを経て決定。
- ・ 助成実績：採択活動8件(申請17件)、助成総額350万円

#### ■実施概要

時期	内容
令和4年4月1日(金)	令和4年度交付決定通知
4月1日(金)～令和5年3月31日(金)	採択活動の実施、随時視察
12月22日(木)	令和4年度活動報告会
令和5年1月10日(火)～30日(月)	令和5年度助成対象活動募集
3月2日(木)	令和5年度助成対象活動ヒアリング・最終選考会

## 2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営

墨田区の文化芸術情報の収集・発信を行うため、本サイトでは区内の文化施設及び文化拠点、区内に活動拠点を置くアーティスト・文化団体情報を登録方式で集約している。イベント情報は、各団体が発行するメールニュース等の転載や、助成事業及びアートプロジェクト「すみゆめ」と連動した情報発信により、年間 109 件を掲載した。また、コロナ禍における支援情報の掲載などでサイト自体の発信力も増してきている。

- ・ 登録件数 : 170 件(前年度 159 件)
- ・ 総アクセス数 : 3万 5,155 件(前年度4万 6,401 件)
- ・ 総ページビュー : 5万 6,462PV(前年度6万 8,044PV)

## 3 文化政策及び文化事業に関する調査

財団の中間支援機能を高めるために、国や都、他の自治体の文化政策の動向等について継続的に情報収集を行った。あわせて、財団が取り組む事業に対して、文化政策等の専門家からなるアドバイザーボードの意見を聴取した。

### (1) 文化施策に関する情報収集

東京藝術大学が主催する「すみだ川アートラウンド～ARTs×SDGs でつながる隅田川流域の民間組織コレクティブ化構想」(助成:文化庁)の連続講座に参加し、墨田区はじめ近隣区域の文化団体やアートNPOなどの活動について情報収集と意見交換を行った。

### (2) アドバイザーボードを活用した検討

文化政策の専門家や文化施設運営、助成制度等に詳しい有識者をアドバイザーボードに迎え、本年度の財団の事業について進捗状況を報告したうえで、以下の事項について意見を聴取した。

会議日時:令和5年3月 17 日(金)15:00～16:30

検討事項:事業の成果と課題、区の施策の方向性について

## 4 アートプロジェクト等の推進事業

すみだ北斎美術館の開設を機に始まったアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会の事務局として事業を推進した。「北斎」「隅田川」はじめ地域資源に因むテーマで、区内及び隅田川流域で行われる活動を公募し、採択企画に対しては補助金交付や技術サポート等を行うとともに、参加団体相互の交流を促している。

前年度に引き続き、コロナ禍の中での運営となったが、感染症対策を徹底した現場対応とオンラインの併用により、主催企画2件、プロジェクト企画 13 件を実施することができた。月1回の情報交換の場である「寄合」は、参加団体の関心事をテーマに設定し、SDGs とアートの関わりや活動の記録と活用等について取り上げ、会場としては WISE OWL HOSTELS RIVER TOKYO やリニューアルした曳舟文化センターほか、今後の活用につながりそうな場を選んで行うことができた。

TOKYO MXTV や J-COM などメディアでの紹介が定着するとともに、港区や文化資源学会が主

催するシンポジウム等で、すみゆめについてプレゼンテーションを求められるなど、外部からの注目度が高まっている。

## ■運営体制

主 催 「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会、墨田区  
協 賛 株式会社東京鋳兼、東武鉄道株式会社  
助 成 公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京  
(主催企画:「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」)  
メディア・パートナー J-WAVE 81.3FM  
事務局 公益財団法人墨田区文化振興財団



チラシ等掲出キービジュアル

## ■事業概要

- ・ プロジェクト企画支援内容:1企画あたり補助金上限 100 万円、区の施設の減免による利用可、技術サポート(照明・音響、展示施工など)の相談にも応じる。
- ・ 選考方法:外部の専門家を含む5名の選考委員により、①企画の独自性・先駆性、②企画の実現性、③テーマとの親和性、④主体的参加・ネットワーク形成の意欲、⑤地域への波及効果・社会的意義といった基準から採択企画を決定(応募:41 件、実施:13 件)。
- ・ チラシ、WEB、SNS を活用した広報と、企画に取材する活動レポートを配信(12 件)。
- ・ メイン期間以外でも趣旨に賛同する「ネットワーク企画」を募集し、広報協力を行う(12 件)。
- ・ 参加団体や地域の方々が集う「寄合」を月1回程度、区内の文化拠点などで実施(9回)。

## ■主催企画

### ①「すみゆめ踊月夜」

隅田公園そよ風ひろばから牛嶋神社の周辺に至るまで、踊りとうらないの場を開いた2日間。そよ風ひろばを舞台とした「すみゆめ踊行列」(プロデュース:岸野雄一)では多彩な歌手や演奏家を迎え、耳馴染みある音頭からオリジナル楽曲の数々を生演奏。町会の太鼓や木遣りなども登場し、多くの方々が櫓を囲んで踊った。

併行して公園のあちらこちらでは、独自のうらないを供する6組のアーティストが出現して「うらないうら道」を展開(企画・構成:居間 theater)。アーティストと向き合う遊びのようなコミュニケーションの中に過去・現在・未来の自分を映し出したり、明日の振る舞いを決める手掛かりを告げられるなど、この時限りの共創的な体験の場が生まれた。

- 日時 11月5日(土)16:00～20:00、  
6日(日)15:00～19:00
- 会場 隅田公園(そよ風ひろば～牛島神社周辺)
- 参加者数 すみゆめ踊行列:5,000名、  
うらないうら道:170名



## ② KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」

身長 180 cm、ダンボール製の巨大力士を制作するワークショップ「巡業」を区内4つの部屋(キラキラ橋、東駒形、東向島、亀沢)で行い、個性豊かな 32 体の力士が「本場所」に集った。会場には力士制作チームを迎え、オンラインでハンマーを動かす「電子どんどこ！」の仕組みと併せて試合を進めた。当日は親方の解説、呼出による太鼓の披露や元力士による相撲甚句や弓取式など、すみだに息づく相撲文化も紹介、YouTube ライブで広く発信した。すべての力士の健闘を称え、地元の谷町からは懸賞品が授与された。

また墨田区が日本相撲協会と包括連携協定を結んだことから、本企画に対する協力関係ができ、令和5年大相撲一月場所において、巨大紙相撲力士 32 体が国技館に展示された。

- 巡業 11月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)
- 本場所 12月18日(日)13:30～17:00
- 会場 すみだリバーサイドホール、YouTube
- 参加者数 巡業:175名、本場所:200名、YouTube ライブ視聴数:648件  
※国技館展示観覧数:約4,000人



### ■実施概要

時期	内容
令和4年3月7日(月)～4月17日(日)	「プロジェクト企画」の募集、応募(41件)
5月11日(水)	選考会にて13企画を採択
5月31日(火)	オリエンテーション及び第1回寄合
6月30日(木)	プログラム内容のプレスリリース
9月1日(木)～12月25日(日)	「すみゆめ2022」開催メイン期間
令和5年2月25日(土)	2022年度活動報告会

※ 実行委員会の実施:令和4年5月2日、8月9日、令和5年3月17日

※ 「寄合」の実施(9回):令和4年5月31日、6月29日、7月13日、8月18日、9月7日、10月19日、11月1日、12月1日、令和5年1月16日

※ 参加者数:延べ11万4,297人／視聴回数:延べ7,408回

## 5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

すみだ文化芸術情報サイトやすみゆめの事務局運営を通じて、地域との人的ネットワークや情報が蓄積してきたこともあり、区内で活動を行う文化団体や関連機関からの問合せが寄せられるようになってきている。なかでも、報知新聞が6月に東京本社を両国に移転するに伴い、地域の文化情報を掲載するコミュニティ季刊紙(区内13,000部)を発行するに際しては、リサーチの段階から相談に応じて区内の多彩な文化活動を紹介した。以来、すみだトリフォニーホールやすみゆめ企画についても毎号掲載してもらうなど連携がはかられている。

また、東京都建設局河川部が主催する隅田川サポーター交流会(全5回)の第2回「河川と文化をつなぐ 隅田川×文化・芸術」で、すみゆめはじめ隅田川を舞台とするアートプロジェクトが紹介され、河川空間の活用の観点から意見が交わされた。さらに本年度のすみゆめに参加した一般社団法人 藝とは、社会福祉法人興望館と協働で取り組んだプログラムが注目され、全国福祉施設研修会「セツルメントと地域におけるアート活動」で話題提供を行うなど、地域活性や福祉など社会の諸課題にかかわる活動として関心を集めている。

なお、区内で文化芸術活動を行う方を対象とする「文化芸術活動に関するオンライン相談日」には、本年度は12件の問合せがあった。